

## Ⅲ その他

### 【自由意見】

今回の調査では、有効回答数 4,736 人のうち、1,832 人の方から自由意見が寄せられました。

#### ➤ みえ県民 1 万人アンケートに関する御意見

今後もできる限り多くの方に回答いただけるよう、御意見を踏まえ、調査方法の改善などについて努めてまいります。

なお、以下に具体的な御意見の例を記載します。

#### ① 目的や活用に関すること

- ・ このようなアンケートを通し県の運営を行なっていただくのはよいことです。日本全体にも言えることだが子供を増やす施策を考えて下さい。人口が増えれば大抵のことは解決するはずです。
- ・ この様なアンケートはどんどん活用して、より良い地域にしてほしい。
- ・ 三重県は自動車がないと生活しにくい環境だと思うので、ぜひとも公共交通の確保・充実に力を入れて頂きたい。アンケート調査をする事は、県民の思いを知る大事な事だと思うので、定期的に行えると良いと思う。
- ・ 今回のアンケートがどう活用されるのか気になりますが確認の仕方が分からないので確認の仕方が分かる方法があれば嬉しいです。
- ・ 調査結果が三重県にとって利益になるように使われるよう願う。

#### ② 調査票の内容や構成に関すること

- ・ 子育ての事、結婚の事については、年齢を分けてアンケートしたほうが良いと思いました。
- ・ このアンケートでリニア開通を知りました。東京や大阪に行くのがもっと楽になればいいなと思っていたのでとても楽しみです。
- ・ 簡単なようで難しい（解り難い）アンケートでした。
- ・ 広いアンケートじゃなく、もっと的を絞って細かい部分まで入り込んだアンケートを実施して欲しい。
- ・ アンケート自体が見づらいうように感じました。問〇-〇の同じくくりは問〇-〇-1のようにするなど、もう少し見やすく作っていただけるとありがたいです。お年寄りの方、忙しい方にはとても面倒かも知れませんね。2色刷りにするだけでも違うと感じました（色分け、ワク付けなど）。
- ・ 各年代に、何に困っていて、何が必要なのか、聞く項目があってもいいのかと思いました。

#### ③ その他（実施方法、公表など）に関すること

- ・ Web で回答はありがたい。
- ・ アンケート調査の投函期間を封筒の方にも記載してほしい。
- ・ アンケートに回答したときに、何かしら報酬があると回答率が上がると思う。

## (参考) 標本誤差と調査の精度

母集団の一部を標本として抽出し、その回答からもとの母集団全体について推定する標本調査では、“真の値”（全数調査を行えば把握できるであろう値）との差が発生することが避けられません。この“標本誤差”は、次のような手順で見積もることができます。

まず、今回のように大きな母集団から標本を無作為抽出する調査では、ある選択肢が選ばれた比率（回答比率） $p$ の“標準誤差”（回答比率の標準偏差）が次のように求められます。

$$\text{標準誤差} = \sqrt{\frac{p(100-p)}{n}} \quad n : \text{回答者数 (人)} \quad p : \text{回答比率 (\%)}$$

標本誤差はこの標準誤差と、結果に求める“信頼度”から見積もります。例えば、信頼度を、最も広く使われる95%（間違える確率が5%）とすると、標本誤差は次の式のように求めることとなります。

$$\text{標本誤差} = 2 \times \text{標準誤差}$$

ここで、右辺第1項の2（厳密には1.96）は、想定する信頼度によって統計学的に決まる値です。回答比率プラスマイナス標本誤差の範囲が信頼区間と呼ばれるもので、信頼度95%の場合、真の値（母集団における比率）が95%の確率で、次の範囲におさまると考えることができます。これが、標本調査の精度です。

$$\text{回答比率} - \text{標本誤差} \sim \text{回答比率} + \text{標本誤差}$$

今回の調査では、10,000人の標本から4,736人の有効回答が得られました。回答者全員を対象とする集計結果の標本誤差を、上の式から具体的に計算すると、例えば回答比率が50%の場合は、1.5%、同20%では1.2%となります。このことから、三重県民（18歳以上）全体の意識を推定するために十分な精度を得ていると考えられます。

次表は、いくつかの $n$ （回答者数）と $p$ （回答比率）の組み合わせについて、信頼度95%の標本誤差を計算した早見表です。

標本誤差の早見表

回答者数(n) \ 回答比率(p)	5%	10%	15%	20%	25%	30%	35%	40%	45%	50%
	(95%)	(90%)	(85%)	(80%)	(75%)	(70%)	(65%)	(60%)	(55%)	
10,000	0.4	0.6	0.7	0.8	0.9	0.9	1.0	1.0	1.0	1.0
5,000	0.6	0.8	1.0	1.1	1.2	1.3	1.3	1.4	1.4	1.4
1,000	1.4	1.9	2.3	2.5	2.7	2.9	3.0	3.1	3.1	3.2
500	1.9	2.7	3.2	3.6	3.9	4.1	4.3	4.4	4.4	4.5
100	4.4	6.0	7.1	8.0	8.7	9.2	9.5	9.8	9.9	10.0

なお、標本誤差の計算は、特定の属性区分（例えば性別が女性など）の回答者 $n$ 人とその回答比率 $p$ という組み合わせについても同様です。上の表は、そのような標本誤差の早見表としてもご覧ください。



**問2** 次の①から⑭までの項目それぞれについて、あなたの満足度を、「5」（満足）～「1」（不満）（わからない方やあてはまらない方は「0」）の中から選んでください。（○はそれぞれ1つずつ）

	5 満足	4 どちらか いえば満足	3 ふつう	2 どちらか いえば不満	1 不満	0 わからない・ あてはまらない
① 家計と資産	5	4	3	2	1	0
② あなた自身の給料や報酬・賃金	5	4	3	2	1	0
③ 仕事のやりがいや生活とのバランス	5	4	3	2	1	0
④ 健康状態	5	4	3	2	1	0
⑤ 医療サービス	5	4	3	2	1	0
⑥ 介護・福祉サービスの利用しやすさ	5	4	3	2	1	0
⑦ 子育てのしやすさ	5	4	3	2	1	0
⑧ 子どもの教育	5	4	3	2	1	0
⑨ 交友関係やコミュニティなど 社会とのつながり	5	4	3	2	1	0
⑩ 身のまわりの自然環境	5	4	3	2	1	0
⑪ 自然災害への備え	5	4	3	2	1	0
⑫ 交通安全・防犯など身のまわりの安全	5	4	3	2	1	0
⑬ 文化・スポーツなどの趣味、生きがい	5	4	3	2	1	0
⑭ 移動手段、交通の便利さ	5	4	3	2	1	0

次に、県が注力している取組に関することについておききします

【災害への備えについて】

問3 あなたは、避難が必要な災害が起きた場合、身近な避難場所に避難することができると思いますか。（○は1つだけ）

- 1 避難できると思う
- 2 避難場所は知っているが、避難できないと思う
- 3 避難場所を知らないので、避難できないと思う
- 4 わからない

問4 あなたのご家庭では、行政から提供される防災マップなどの情報提供により、災害から身を守るための備えをしていますか。（○は1つだけ）

- 1 行政からの防災情報を確認し、備えをしている
- 2 行政からの防災情報を確認したことはあるが、備えはしていない
- 3 行政からの防災情報を受けたことはあるが、内容を確認したことはない
- 4 行政からの防災情報を受けたことがない
- 5 わからない

問5 あなたは、災害が発生した時に地域の住民とお互いに助け合う意識をお持ちですか。（○は1つだけ）

- 1 持っている
- 2 ある程度持っている
- 3 あまり持っていない
- 4 持っていない
- 5 わからない

【子ども・子育て支援について】

問6 あなたは、地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っていると感じますか。（○は1つだけ）

- 1 感じる
- 2 どちらかといえば感じる
- 3 どちらかといえば感じない
- 4 感じない
- 5 わからない

**問7** あなたは、子どもを何人くらいほしいですか。あるいは、ほしかったですか。

理想の子どもの人数をお答えください。

(○は1つだけ。「1」に○をつけた方は( )に人数も記入してください)

- 1 ( ) 人くらいほしい (ほしかった)
- 2 ほしくない (ほしくなかった)
- 3 わからない

**問8** お子さんはいらっしゃいますか。結婚や就職など既に独立しているか否か、同居しているか否かにかかわらず、記入してください。

(○は1つだけ。「1」に○をつけた方は( )に人数も記入してください)

- 1 子どもが ( ) 人いる ⇒ 問8-2へ
- 2 子どもはいない ⇒ 問9へ

**問8-2** 問8で「1」を選んだ方におききします。

現在、ご家庭に次の方はいますか。該当があれば○をつけてください。

(○はいくつでも、該当する方がいない場合は未記入)

- 1 未就学児 (小学生未満)
- 2 小学生・中学生
- 3 高校生
- 4 大学生 (短大、高専、専門学校なども含む)

**問9** これまでの県の調査では、実際の子どもの数は理想の子どもの数より少ないという傾向がでています。この理由として、あてはまると思うものに○をつけてください。(○はいくつでも)

- 1 子育てや教育にお金がかかりすぎる
- 2 仕事と子育てを両立できる職場環境ではない
- 3 子どもを育てる環境(保育所、学校など)が整っていない
- 4 自分や夫婦の時間を大切にしたい
- 5 高年齢で産むのは嫌・難しい
- 6 育児の心理的、肉体的負担に耐えられない
- 7 健康上の理由
- 8 ほしいけれども子どもに恵まれない
- 9 パートナーの家事・育児への協力が得られない
- 10 パートナーが望まない
- 11 地域社会において子育てへの理解が薄い
- 12 その他 ( )

問 9-2 問 9 で「1」を選んだ方におききします。

あなたは、子育てや教育にお金がかかる主な理由は何だと思えますか。  
次の中からあてはまると思うものを3つまで○をつけてください。

(○は3つまで)

- |    |   |
|----|---|
| 1  | 子育てに必要な生活用品の購入（食費、おむつ、衣服費等）               |
| 2  | 幼稚園、保育所の費用                                |
| 3  | 小・中学校の入学費、授業料、給食費                         |
| 4  | 高校の入学費、授業料                                |
| 5  | 大学や専門学校などの入学費、授業料                         |
| 6  | 仕送り、アパートなどの家賃                             |
| 7  | 通学のための交通費                                 |
| 8  | 習い事や塾など                                   |
| 9  | クラブ活動費                                    |
| 10 | 節目の行事（入学式、卒業式、修学旅行等）                      |
| 11 | 医療費                                       |
| 12 | 通信費（パソコン、スマートフォン等）                        |
| 13 | その他（ <span style="float: right;">）</span> |

問 10 あなたは、「ヤングケアラー\*」について知っていましたか。(○は1つだけ)

- |   |                          |
|---|--------------------------|
| 1 | 言葉も意味も知っていた              |
| 2 | 言葉はきいたことはあるが、意味はよく知らなかった |
| 3 | 言葉も意味も知らなかった             |

\*本来であれば大人が行うような家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものことを「ヤングケアラー」といいます。

【観光について】

問 11 あなたは、三重県経済の発展にとって観光産業が重要な役割を果たしていると思えますか。(○は1つだけ)

- |   |                |
|---|----------------|
| 1 | そう思う           |
| 2 | どちらかといえばそう思う   |
| 3 | どちらかといえばそう思わない |
| 4 | そう思わない         |
| 5 | わからない          |

**問 12** あなたは、県内各地で観光客が増えると、どのような効果や影響があると思いますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。  
(○は3つまで)

- 1 イベントの開催や店舗の出店など地域のにぎわいの向上
- 2 経済活性化や働く場の増加
- 3 施設や道路などのインフラ整備
- 4 文化資源や自然資源の保存・継承
- 5 騒音やゴミの増加による生活環境の悪化
- 6 道路の渋滞、バスやタクシーの混雑
- 7 自然や景観が損なわれる
- 8 観光地化による物価上昇
- 9 とくに効果や影響はない
- 10 その他 ( )

**【リニア中央新幹線について】**

**問 13** リニア中央新幹線が開業すると、三重県駅が設置され、東京まで約1時間、大阪まで約20分で結ばれることとなります。リニアの県内駅ができることについて、あなたが期待することは何ですか。(○はいくつでも)

- 1 三重県から首都圏に通勤・通学が可能となる
- 2 三重県から関西圏に通勤・通学が可能となる
- 3 県外や外国からの観光客が増加する
- 4 遠方移動の負担が軽減される
- 5 産業が活性化し、地域の景気が良くなる
- 6 仕事などで訪れる人が増え、にぎわう
- 7 大都市からの移住者が増える
- 8 特に期待することはない
- 9 リニアは必要ない
- 10 その他 ( )



【デジタルの活用について】

問 14 あなたは、身のまわりでデジタル化が進んでいると思いますか。  
仕事や暮らしの中で、次の中からあてはまるものを選んでください。  
(○はそれぞれ1つずつ)

	5 進んでいる	4 どちらかといえば 進んでいる	3 ふつう（中程度）	2 どちらかといえば 進んでいない	1 進んでいない	0 あてはまらない・ わからない
①仕事	5	4	3	2	1	0
②暮らし	5	4	3	2	1	0

問 15 あなたは、納税や住民票の取得などの行政手続をする際、役所の窓口に行かずに手続をするようなデジタルサービスを利用したことはありますか。  
(○は1つだけ)

1	デジタルサービスを利用したことがある	⇒問 16 へ
2	行政手続をする機会があったが、デジタルサービスは利用したことはない	⇒問 15-2 へ
3	そもそも行政手続を利用する機会がなかった	⇒問 16 へ
4	わからない	⇒問 16 へ

問 15-2 問 15 で「2」を選んだ方におききします。  
その主な理由は何ですか。(○は1つだけ)

1	スマートフォンやパソコンを持っていない
2	手続がデジタル化していることを知らなかった
3	必要な手続がデジタル化していない
4	利用方法がわからない、操作が難しい
5	対面による手続がよいと思う
6	その他 ( )

【結婚について】

問 16 あなたは、これまでに結婚をしたことはありますか。(○は1つだけ)

- |   |                        |            |
|---|------------------------|------------|
| 1 | 未婚(結婚したことはない)          | ⇒ 問 16-3 へ |
| 2 | 既婚・死別(結婚したことはあるが、死別した) | ⇒ 問 16-2 へ |
| 3 | 既婚・離別(結婚したことはあるが、離別した) | ⇒ 問 16-2 へ |
| 4 | 既婚・配偶者あり(現在、夫または妻がいる)  | ⇒ 問 16-2 へ |

問 16-2 これまでに結婚したことがある方(問 16 で「2」～「4」を選んだ方)におききします。出会いのきっかけは何ですか。

(○は1つだけ ※再婚の方は初婚のきっかけ)

- |    |                         |            |
|----|-------------------------|------------|
| 1  | 学校で                     | } ⇒ 問 17 へ |
| 2  | 職場や仕事の関係で               |            |
| 3  | 幼なじみ・隣人関係               |            |
| 4  | 学校以外のサークル活動やクラブ活動・習いごとで |            |
| 5  | 友人や兄弟姉妹を通じて             |            |
| 6  | 見合いで                    |            |
| 7  | 結婚相談所で(オンラインを含む)        |            |
| 8  | 街なかや旅先で                 |            |
| 9  | アルバイトで                  |            |
| 10 | SNSで                    |            |
| 11 | マッチングアプリ・サイトで           |            |
| 12 | その他( )                  |            |

問 16-3 これまでに結婚したことがない方(問 16 で「1」を選んだ方)におききします。

今後の人生を通して考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、次のうちどちらですか。(○は1つだけ)

- |   |            |            |
|---|------------|------------|
| 1 | いずれ結婚するつもり | ⇒ 問 16-4 へ |
| 2 | 結婚するつもりはない | ⇒ 問 16-5 へ |

問 16-4 問 16-3 で「1」を選んだ方におききします。

現在、結婚していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- |  |             |
|--|-------------|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1 結婚するのはまだ早い</li><li>2 出会いの機会がない</li><li>3 理想の相手に出会えていない</li><li>4 収入が少ない</li><li>5 自分に自信が持てない</li><li>6 自由な生活を失いたくない</li><li>7 仕事が不安定</li><li>8 金銭的に不自由になる</li><li>9 キャリアアップの障害になる</li><li>10 その他 ( )</li></ol> | ⇒<br>問 17 へ |
|--|-------------|

問 16-5 問 16-3 で「2」を選んだ方におききします。

「結婚するつもりはない」と考える理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1 年齢的に難しいと感じる</li><li>2 結婚したいと思える人に巡り合えそうにない</li><li>3 苗字・姓が変わるのが嫌・面倒</li><li>4 結婚という形式にこだわる必要性を感じない</li><li>5 自由でいたい</li><li>6 結婚生活を送る経済力がない・仕事が不安定</li><li>7 仕事を優先したい・キャリアを中断したくない</li><li>8 誰かと一緒に生きていきたいと思わない</li><li>9 婚活・恋愛で辛い経験があり、もうしたくないと思う</li><li>10 その他 ( )</li></ol> |
|---|

【転入・転出について】

問 17 あなたは、県外へ転出、または、三重県に転入したことはありますか。

(〇は1つだけ)

- |                           |            |
|---------------------------|------------|
| 1 生まれてからずっと三重県に住んでいる      | ⇒ 問 18 へ   |
| 2 三重県以外で生まれ、三重県に転入した      | ⇒ 問 17-2 へ |
| 3 三重県で生まれ、三重県外へ転出したが戻ってきた | ⇒ 問 17-3 へ |



さいごに、ご自身の現在のことについておききします

三重県全体の分析のためには、お一人おひとりについて、以下の情報が欠かせません。無記名式であり、集計した結果のみを使用しますので、個人の情報が特定されることは一切ありません。ぜひご協力ください。

問 18 あなたの性別をお答えください。(○は1つだけ)

- 1 男性
- 2 女性
- 3 その他

問 19 あなたは現在、おいくつ(満年齢)ですか。

満  歳

問 20 あなたの世帯構成はどれにあたりますか。(○は1つだけ)

- 1 単身世帯(ひとり暮らしなど)
- 2 一世代世帯(夫婦のみなど)
- 3 二世帯世帯(親と子など)
- 4 三世帯世帯(親と子と孫など)
- 5 その他( )

問 21 あなたの主な職業は何ですか。(○は1つだけ)

- 1 農林水産業(家族従事者も含みます)
- 2 自営業、自由業(家族従事者も含みます)
- 3 企業、役所、団体などの正規の社員・職員
- 4 パート、アルバイト、派遣社員など
- 5 その他、収入のある仕事
- 6 学生(アルバイトなどをしている方も含みます)
- 7 専業主婦、専業主夫
- 8 無職

**問 22** あなたの世帯全体の年間収入（税込み）はどのくらいですか。

（○は1つだけ）

- |    |                 |
|----|-----------------|
| 1  | 100万円未満         |
| 2  | 100万円～200万円未満   |
| 3  | 200万円～300万円未満   |
| 4  | 300万円～400万円未満   |
| 5  | 400万円～500万円未満   |
| 6  | 500万円～600万円未満   |
| 7  | 600万円～800万円未満   |
| 8  | 800万円～1,000万円未満 |
| 9  | 1,000万円以上       |
| 10 | わからない           |

**問 23** あなたのお住まいの地域はどちらですか。

「1」～「5」の地域に○をつけてください。（○は1つだけ）

- |   |        |  |
|---|--------|--|
| 1 | 北勢地域   | （桑名市・いなべ市・四日市市・鈴鹿市・亀山市・木曾岬町・東員町・菰野町・朝日町・川越町） |
| 2 | 伊賀地域   | （伊賀市・名張市）                                    |
| 3 | 中南勢地域  | （津市・松阪市・多気町・明和町・大台町）                         |
| 4 | 伊勢志摩地域 | （伊勢市・鳥羽市・志摩市・玉城町・度会町・大紀町・南伊勢町）               |
| 5 | 東紀州地域  | （尾鷲市・熊野市・紀北町・御浜町・紀宝町）                        |

今後、三重県に特に力を入れてほしい取組\*や、本アンケート調査に対するご感想、ご意見などありましたらご自由にお書きください。

\*県の取組については、同封の依頼状裏面の『「みえ元気プラン」の主な取組』も参考にしてください。

**質問は以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。**

記入を終えられましたら、同封の返信用封筒（切手不要）に調査票を入れ、令和5年2月8日（水）までに郵便ポストに投かんしてください。